

金 剛 石

八代市立第六中学校

学校だより

令和8年7月7日

文責：校長



校訓：「金剛石の光を発揮し、まわりを照らせ」

学校教育目標：「自分を磨き、仲間と繋がり、未来を考える生徒の育成 ～共に成長していく学校～」

多様な学び ～未来を生き抜く力を～

先週は前期中間考査がありました。各教科で答案用紙が返却され、成績表も近日中に渡される予定です。定期考査までの自分の取り組み方を振り返ると同時に、間違った問題を見直し、原因を確認し、やり直しを丁寧にやっておきましょう。以前、孔子さんの言葉を紹介しましたが、「過ち（間違い）を改めないのが本当の過ち（間違い）」です。次は間違えない、次はできるようにしておくことが大切です。これを繰り返していくことで自分自身の本当の力がつきます。

さて、1学期も残すところわずかになりましたが、教科の学習はもちろん、各学年で多様な学びを行ってきました。1年生は「ふるさと金剛学」でそれぞれのテーマで探究学習を行っています。同時に人権学習も進めています。2年生は消防署の方々に来ていただき、「救命救急教室」を実施しました。2学期に行う「職場体験」の準備も進めていて、挨拶と打ち合わせのアポイントメントをとる電話の練習をしました。3年生は先週末に八代工業高等学校の生徒さんにサポートしてもらいながら「ものづくり体験」をしました。電気回路について学ぶとともに、自分の進路についても考える機会になったと思います。（当日はNHKや熊本日日新聞の取材もあり、夕方のニュースで放送され、新聞にも掲載されました。）



給食時間、「今日の給食も栄養のバランスを考えながら残さず食べましょう」と放送があるように自分の体をつくる食事では、いろいろな食材・栄養をバランスよく食べることが重要です。学習も同じように多様な学びが必要です。人間ですから得意・不得意はあるでしょう。当然、好き嫌いもあるでしょう。しかし、それぞれの学びがいつ何時役立つかわかりません。また、直接役に立たないように見えても学んできたことが知恵やアイデアとなって他の分野で役立つことがあります。



国際化や情報化が進み、AIが飛躍的に進歩している現代は予測が難しい世の中になってきています。未来を生き抜いていくために必要な力を日々の学校生活で身に付けていってください。

運水搬柴 ～必要なこと・当たり前のことをコツコツと～

「運水搬柴（うんすいはんさい）」という言葉があります。生活に必要な「水」や燃料（火を焚く）となる「柴（しば）」を運搬するというシンプルな行為ですが、実は深い意味が含まれているそうです。

今は水道の蛇口をひねれば（最近は自動で）水が出ます。ガスコンロやIHヒーター、電子レンジで簡単に熱を加えることができます。昔話では、「おじいさんは山へ柴刈りに、おばあさんは川へ洗濯に・・・」とあるように、昔は生活に必要な水を汲みに行き、柴を集めてくる日々の作業が必要でした。この何気ない日常がその人の人間性を創っていくということだそうです。ある日突然、大きな力が得られるわけではなく、日々の積み重ねが必要な力をつけていくということなのでしょう。



人は普段の生活の中で「時間の使い方」「言葉の使い方」「お金の使い方」「心の使い方」などを学んでいきます。（良くも悪くも）同じ一日を過ごしても、愚痴や悪口ばかり言っていると心が荒れていきます。感謝や努力の姿勢があれば人生が豊かになっていきます。つまり、自分に与えられたものをどのように活かし、自分を磨いていくかが大切なのではないでしょうか。

時間を人のために使う人は、信頼を得ることができます。言葉を優しさに使う人は、人に愛されます。努力に力を使う人は、成長していくことができます。日々の小さな行為がその人を少しずつ、静かに形づくっていきます。

もうすぐやってくる夏休み、「決まった時間に起きる・寝る」「朝ご飯を食べる」「歯を磨く」「計画的に学習する」「メディアの使用時間を律する」「周囲に感謝する」など、必要なこと、当たり前のことを積み重ね、自分自身の人間性を磨いていきましょう。特別なことではなく、日常の何気ない行為そのものが実は大事なのです。